

令和4年度

No7

R4.9.27

南アルプス市立小中一貫校八田小中学校
南アルプス市立八田中学校

日日新



発行者

校長 笹本 学

第33回 秋 桜 祭

9月17日(土)と21日(水)(台風の影響で3日延期)の2日間にわたって、第33回秋桜祭を開催しました。今年のテーマは「彩^{いろどり} ~輝けぼくらの彩^{いろ}~」。このテーマにあるように一人ひとりが個性を発揮し、すばらしい八田中の文化が創造されました。

1日目の文化の部では、学年劇と全校合唱に取り組みました。

学年劇で1年生は、初めて臨む緊張感の中、「白雪姫?~You can fly~」を初々しく元気いっぱい演じました。

2年生は「時をこえて」で、ダンスを交えながら、自分たちの未来は自分たちの力で創っていくのだという決意を込めて、昨年の経験をいかした演技を披露しました。

そして3年生。宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の群読からスタートし、私たちの心に潜む悪の気持ちに打ち勝ち、多様性を認め合い、人を愛し、よりよく生きようという願いを込めて「べっかんこ鬼」を演じました。特に3年生の演劇は、八田中の最上級生としてのプライドを持った、そして後輩たちが目標とするすばらしい演劇でした。



全校壁画

また、開祭式の中では3年ぶりに全校合唱「大地讃頌」を歌い、全校生徒で制作した全校壁画も披露されました。特に全校合唱は、コロナの影響で2年間取り組みがなく3年生も経験してこなかったことなので、手探りの状況だったり、十分な練習もできなかつたりしましたが、秋桜祭に向け全校生徒の

気持ちを一つにして取り組みたい、そして八田中の伝統を残していきたいという意気込みが伝わる合唱になりました。

2日目の体育の部。台風の影響で3日延期になりましたが、各競技、熱戦が展開されました。体育部門と言えば、競技もですが、八田中学校では伝統の『応援』。今年は、赤・青の系列応援と全校生徒による全校応援を披露しました。3年生をリーダーに創り上げた系列応援、生徒会執行部を中心に取組んだ伝統の全校応援、どちらも気持ちと息の合ったすばらしい応援でした。

今年もコロナの状況を考慮しながらの取り組みになりましたが、対策を取りながらでき

るものを少しずつ増やし、八田中の伝統を引き継いだすばらしい学園祭が展開されました。次はどんな輝きが見られるか楽しみです。

なお、学年劇、応援につきましては動画配信を行う予定でいます。準備が整いましたら改めて連絡をいたします。また、体育の部において風の影響を避けるためにテントを移動する際には、多くの保護者の皆様にご協力をいただき、本当にありがとうございました。

